



板一中 小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）



板二小ホームページ QRコード

板二だより

令和7年度3月号

令和8年3月2日

学校情報化優良校・ユネスコスクール認定校

板橋教育ビジョン研究奨励校（自己調整学習）

板橋区立板橋第二小学校

小学校教科担任制等推進モデル校

校長 小澤 裕行

3月を迎えて ～一年の締めくくりにあたり～

校長 小澤 裕行

早いもので3月です。校庭の木々の緑や、やわらかな日差しに、春の訪れを感じる頃となりました。本年度も残すところわずかとなりましたが、子供たちがこの一年を大きな事故なく、怪我なく過ごすことができていることを、何よりうれしく思っております。これもひとえに、保護者・地域の皆様の日頃からの温かい見守りとご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

4月、それぞれが新たな目標を胸にスタートしました。学習や運動、学校行事や日々の生活の中で、子供たちは多くの経験を重ねてきました。友達と力を合わせることの大切さや、最後までやり抜くことの尊さを学び、心も体も大きく成長した一年であったと感じています。3月は、一年間の締めくくりの月です。できるようになったことを振り返り、自分の成長を実感するとともに、支えてくれた周囲の人々への感謝の気持ちを育んでほしいと願っています。そして、その自信と感謝を胸に、次の学年へと力強く歩み出してほしいと思います。

特に6年生にとっては、小学校生活の集大成の時です。これまで本校を支えてきた誇りを胸に、立派に巣立ってくれることを期待しています。在校生もまた、一つ上の学年へ進級します。それぞれの立場で新しい責任を自覚し、よりよい学校づくりの担い手となってくれることでしょう。

先週の金曜日に「6年生を送る会」を実施しました。1～5年生の在校生にとっては、6年生とお別れする会であり、6年生にとっては5年生にバトンを渡す大切な会ですが、子供たち一人一人が会の意義を自覚し、実施できて本当に良かったと思えました。在校生の出し物は6年生との思い出や、感謝の気持ちが伝わるものでした。また在校生からの出し物の中には、6年生に挑戦という企画を行った学年もあったり、出し物に6年生も参加してもらったりするなど、クラスで一生懸命に考えて工夫した様子が手に取るように感じられました。また、この会を教員とともに企画し、当日の進行役を務めたのが、4年生と5年生の計画代表委員です。6年生からバトンを引き継ぎ、特に5年生は「次年度は最上級生として頑張っていくんだ」という決意が伝わってきました。今週の木曜日の朝の児童集会では現5、6年生から現4、5年生への鼓笛隊の引き継ぎ式も計画されています。これから6年生は卒業に向けて、在校生は進級に向けてのカウントダウンが進みます。

結びに、本年度も本校の教育活動にご理解とご支援を賜りましたことに、重ねて御礼申し上げます。子供たちが残り1か月間も安全で安心な環境の中で健やかに成長していけるよう、教職員一同努めてまいります。少し早いですが一年間、誠にありがとうございました。